

プログラム・ディレクター

ロジャー・マクドナルド(AIT)キュレーター。ケント大学にて宗教学修士課程修了後、美術理論にて博士号を取得。第一回「シンガポール・ビエンナーレ 2006」キュレーター。女子美術大学非常勤講師、東京造形大学非常勤講師。
 小澤慶介(AIT)キュレーター。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジにて現代美術理論修士課程修了。MAD2012のキュレーティング・コース受講生とともに、守章「終日中継局」展を企画。女子美術大学非常勤講師。

ゲスト講師一覧

アンドリュー・マークル(エディター)／五十嵐太郎(東北大学大学院工学研究科教授／あいちトリエンナーレ2013芸術監督)／市川靖子(アートイベントPR)／ヴィヴィアン佐藤(美術家)／遠藤一郎(未来美術家)／逢坂恵理子(横浜美術館館長)／甲斐賢治(せんたいメディアテーク主幹兼企画・活動支援室長)／金島隆弘(アートフェア東京エグゼクティブ・ディレクター)／佐々木中(作家／哲学者)／沢山遼(美術批評)／塩原将志(アート・オフィス・シオバラ代表取締役)／塩見有子(AIT)／志賀理江子(写真家)／辛美沙(MISA SHIN GALLERY代表)／須川咲子(hanare)／住友文彦(AIT)／帆足亜紀(横浜トリエンナーレ組織委員会事務局長)／保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究員)／堀内奈穂子(AIT)／光岡寿郎(メディア研究)／三浦末雄(ミヅマアートギャラリー・ディレクター)／宮永愛子(美術家)／森弘治(美術家)／吉野誠一(アート・コレクター)／吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

MAD2013 受講方法

1 コース

指定されているレクチャーに加え、他のコースのレクチャーから2コマを自由に選択して受講することができます。一期のみ、あるいは通年で受講することが可能です。

コース名	レクチャー数	各期の受講料	各期の定員
キュレーション	指定8コマ+選択2コマ	¥45,050(税込/交流会費込)	30名
インダストリー	指定10コマ+選択2コマ	¥53,550(税込/チュートリアル有)	20名
オーディエンス	指定8コマ+選択2コマ	¥42,000(税込/バス代込)	20名
アーティスト	指定8コマ+選択2コマ	¥35,700(税込/作品プレゼンテーション講評有)	20名

3 ゼミ

指定されているレクチャーに加え、コースのレクチャーから2コマを自由に選択して受講することができます。一期のみ、あるいは通年で受講することが可能です。ゼミは、各期、ゼミ生と「シュプレマティスト」クーポンを購入した方で行われます。

ゼミ名	ゼミ数	各期の受講料	各期の定員
アンビエントな美学	指定8コマ+選択2コマ	¥79,800(税込/合宿代・テキスト代込)	10名
アートの詩学と存在論	指定6コマ+選択2コマ	¥69,300(税込/展覧会制作費込)	10名

2 クーボン

受講したいレクチャー数に合わせてクーポンを購入し、コースを横断しながらレクチャーを自由に受講することができます。異なる種類のクーポンの組み合わせや、追加購入が可能です。詳しい受講のしかたは、HPをご覧ください。クーポンの有効期間は、2013年4月から12月までです。

クーポン名	レクチャー数	受講料
ミニマリスト	5コマ	¥19,950(税込)
インプレッショニスト	10コマ	¥37,800(税込)
リアリスト	20コマ	¥71,400(税込)
エクスプレッショニスト	50コマ	¥168,000(税込)
シュプレマティスト	96コマすべて	¥329,700(税込/合宿代等込)

4

他にも、コース、クーポン、ゼミを組み合わせることも可能です。

お申込方法＝お申し込みは、2013年1月21日から受け付けます。HPにて、MAD2013の概要や受講方法をご確認の上、オンライン申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。お振り込みや受講についてのご案内メールをお送りします。FAXにてお申し込みをご希望の場合は、お問い合わせください。原則として、お申し込み完了後の変更、キャンセルおよび返金は受付けておりません。予めご了承ください。お申込締切＝4月開講コースおよびゼミ:3月29日(金)／9月開講コースおよびゼミ:8月30日(金)／クーポン:2013年11月まで随時受け付けています。

【受講上の注意】○コースは、各回定員40名で、おもに代官山のAITルームにて行われます。〔「キュレーション」は各回定員50名〕○「シュプレマティスト」は、すべてのコースおよびゼミを受講できます。受講料には、展覧会の入場料以外の手がかりが含められます。5月開講予定のゼミ「アーティスト・プラクティス」は、受講することができません。○専用バスで行く「お出かけレクチャー」のバス代は、「オーディエンス」および「シュプレマティスト」以外の受講生に、別途お支払いいただきます。(その他の「お出かけレクチャー」は現地集合・解散のため、交通費は各自でご負担ください。)○展覧会の入場料は、すべての受講生の負担になります。○ゼミの受講希望者は、別途、ゼミのお申込みが必要となります。〔「シュプレマティスト」を除く〕○掲載情報は、2012年12月現在のものです。レクチャーおよびゼミの内容やスケジュール、また講師は変更される場合がありますが、事前に告知されます。○レクチャーおよびゼミの時間について:平日19:00-21:00/土曜12:30-14:30、15:30-17:30 「キュレーション」は、平日19:00-20:30

オンラインで20世紀の美術史について学べる、無料レクチャー FREE MAD!

現代アートが気になりだしたら、アートの歩みを変えた事件や運動、作品などを解説したFREE MADへ、今すぐアクセス!
 もっと深く知りたいと思えば、2013年度のMADへ。www.a-i-t.net/ja/freemad/

オープンデーとお得な割引

「オープンデー」では、MADのプログラム説明とミニ・レクチャーを行います。
 開催日時は、1月28日(月)、2月22日(金)、3月18日(月)のいずれも19:00～20:30。
 お申込みなどの詳細はHPへ。4月以降は、随時「相談会」を行います。
 また、2月28日(木)までにお申し込みいただいた方は、受講料が10%割引になります。
 (「ミニマリスト」は、適用外)。その他の特典についてはHPをご覧ください。



NPO法人アーツインシアティヴトウキョウ【AIT/エイト】
 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-8 ツインビル代官山B403
 Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266
 E-mail: mad@a-i-t.net http://www.a-i-t.net

NPO法人アーツインシアティヴトウキョウ【AIT/エイト】とは?—キュレーターやアート・オーガナイザーが、現代アートと視覚文化から社会を考えるための場作りを目的として、2002年に設立したNPO団体です。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらを成立させている文化や社会について話し合う場をさまざまなプログラムをとおして創り出しています。

SCHOOL OF CONTEMPORARY ART



SINCE 2001 BY AIT WWW.A-I-T.NET

現代アートの学校、MAD (Making Art Different—アートを変えよう、違った角度で見よう)。

2013年度は、4月から12月まで4つのコースほか、新たに3つのゼミを開講します。

「3.11」を経て、今、アートは、これまでとは何か違うものとして語られはじめています。

来るべき社会の先行指標ともいえるアート。

その力を頼りに、私たちの時代や社会、自然との複雑な結び目について講師や受講生とともに語り合い、考えてみませんか？

MAD2013 コース

20世紀の美術史やキュレーションの基礎知識から、アート界の研究とプロジェクト企画の方法、

アートを経験する基礎力づくり、アーティストになるための思考方法まで、現代のアートにさまざまな角度からアプローチします。

キュレーションと20世紀美術のA to Z キュレーション・コース

美術史や哲学思想、社会学などの学問領域を横断しながら、21世紀のキュレーションを考えます。作品と空間、さらに時代や文化などの要素が複雑に関係してさまざまに変化するキュレーション。今、キュレーションはどこに向かっているのでしょうか？ロジャー・マクドナルドや小澤慶介とともにその可能性を探ります。テーマに応じてゲスト講師を迎えるほか、本コース生を対象に、各期、交流会を2回レクチャー後に開催し、受講生どうしのネットワーク作りを図ります。

前期 (2013年4月～7月)

「集めて」、「見せる」という文化の歩み

- キュレーションのA to Z—「世界」を映し出す鏡
- モダン(近代)とはどんな時代?—正しい芸術の物語り
- 芸術のわかれ道—写真、映画が生まれた時代
- マルセル・デュシャン、ゲームの規則—眼から灰色の脳細胞へ
- 戦争前夜と抵抗する芸術の姿
 - アヴァンギャルドの季節　沢山遼
- 国家とキュレーションのあぶない関係—世界大戦と芸術
- ペインティングと壁、ペインティングの壁—絵画の死と再生
- 20世紀キュレーション—グローバル化セッションの到来前夜

後期 (2013年9月～12月)

グローバリズムとキュレーションの影響関係

- 多様で複雑、20世紀後半分のアートを考える
- グローバリズムとキュレーション—言語・文法・文化の間を考える
- インスタレーションって、結局なんでもありということ？
- なぜ、人とモノ、場の関係が美学になる？
 - コンセプトチュアルから関係性の美学へ
- ヴェネツィアは沈むのか？　国際展の不／可能性
 - 芸術に美術館は必要か？
 - 近未来の美術館を考える　光岡寿郎
- 記憶の生産とキュレーションの深い関係
 - アーカイヴへの衝動　住友文彦
- キュレーティングの伸縮と拡張—今どきのキュレーティングを考える

現代アートというゲームの規則とゲームの始め方 インダストリー・コース

アート界の仕組みと運動を知り、自らアクションを起こしたいと考えている方を対象に開講します。アートを仕事にするためには、知識と熱意、同時代に対する洞察力、そしてネットワークが要求されますが、そのバランスを見極めながら、企画の立ち上げの可能性を探ります。本コース生は、AITのオフィスアワー内で、自ら考えている企画について、チュートリアルを受けることもできます。

前期 (2013年4月～7月)

アート界の枠組み、仕組みの基礎と今

- 現代アートってこういうこと？
 - アートとアート界の基礎　塩見有子
- ギャラリディレクターの仕事　三淵末雄
- 美術館と国際展と教育を巡る　逢坂恵理子
- アートの鮮度とマネジメント　帆足亜紀／塩見有子
- 旬のアートを読み解こう　塩見有子／堀内奈穂子
- 世界と日本を批評で結ぶ　アンドリュウ・マークル
- 企業とアートの切っても切れない関係　塩見有子
- アートの価値が生まれるとき　塩原将志
- 日本の文化政策の今
 - アーティスト・イン・レジデンスを中心に　吉本光宏
- 地域社会とアートの関係を考える
 - なぜアートで地域再生なのか？　小澤慶介

後期 (2013年9月～12月)

アートを届ける:この人が動くと社会が動く

- 現代アートってそういうこと？
 - アートと社会のいい関係　塩見有子／堀内奈穂子
- 「あいちトリエンナーレ2013」から震災と建築、アートと地域づくりを考える　五十嵐太郎
- 21世紀型公民館、「Social Kitchen」という実験　須川咲子
- 震災前と後
 - 遠藤一郎が、いま、考えていること　遠藤一郎
- アート・プロジェクトを考えるワークショップ　塩見有子／堀内奈穂子
- 活字で伝える、カラダで伝える　市川靖子／ヴィヴィアン佐藤
- 記録は限りなく表現に近づいてゆく—「3がつ11にちをわすれないためにセンター」という現象　甲斐賢治
- アートフェアをとおして見るこれからのアジア　金島隆弘
- 現代アートを集めて、カフェを運営して、人と人をつなげる振る舞い　吉野誠一
- アート・プロジェクトのプレゼンテーション　塩見有子／堀内奈穂子

旬なアートの美味しいいただき方、あります。

オーディエンス・コース

アートのことはまだよく知らないけれど、これから向き合ってみようという方を対象に開講します。知恵や思考とともに技術が豊かに折り込まれている良質なアート。それは、人の考え方だけではなく、生き方をも変えるかもしれません。レクチャーや見学をとおして、驚きや発見に出会ってみませんか?各期、専用バスでのアート・スポット訪問があります。訪問先は、HPで随時お知らせします。

前期 (2013年4月～8月)

2013年のアート・シーンは、こうなっている

- アートのA to Z—アートを見る三つの物差し　小澤慶介／堀内奈穂子
- アート界とお金の流れ　辛美沙
- 森美術館「Love」展と六本木のギャラリー巡り　塩見有子／堀内奈穂子　お出かけ
- ハラミュージアム アークへ行こう!　塩見有子／堀内奈穂子　バス
- 世界最大のアートフェア、アート・バーゼルで何がおこっているか　堀内奈穂子
- 現代アート・コレクション探訪　お出かけ　吉野誠一／塩見有子
- アーティストという職業、あるいは職能　宮永愛子
- 2013年上半年アート・シーンをナナム読み　小澤慶介／堀内奈穂子

後期 (2013年9月～12月)

アートの力はどこにある!?

- アート・スペースの新たな方法論
 - 環境・教育・サバイバル!　塩見有子／堀内奈穂子
- 革命としてのアート・アートとしての革命　佐々木中
- 美術館の顔—コレクションを見る　堀内奈穂子　お出かけ
- まち×アート
 - まち再発見の小旅行　堀内奈穂子　お出かけ
- アートは、現場で起こっている!?
 - 秋のアート・スポット見学　堀内奈穂子　バス
- 見ることはじまり
 - 写真を通して土地と人に触れるということ　志賀理江子
- アートのウチとソト
 - アール・ブリュットを考える　保坂健二朗
- アートのZ to A—お金儲けの外からアートを考える　小澤慶介／堀内奈穂子

お出かけ	公共交通機関にて移動（現地集合・現地解散）
バス	専用バスにて移動



MADの特徴は?

アートを、アートだけではなく、哲学思想や社会学、文化人類学、文学、自然科学などの学問領域をとおして考える。

アートの知識がなくても、今の表現に触れ、私たちの時代について考えてみたいという熱意があれば、大丈夫。

アート界で活躍しているアーティストやキュレーターなどと、直接意見交換ができる。

自分とアートの接点を探り、アートの仕事を始める前の業界研究ができる。

コースやクーポンのレクチャーで基礎を。アートの奥深さに触れたい方は、ゼミへ。

MAD2013 ゼミ NEW

アートは、私たちにさまざまな「問い」を投げかけながら、時に生きるための思考や術策のありかを

ほめかし、世界の成り立ちや人間社会におこる力関係、生命の神秘を垣間見せてくれます。

アートを、今、ほんとうに必要なものとして、捉え直してみませんか？

アンビエントな美学

アートを「見る」ということは、どういうことでしょうか?アートの体験がスペクタクルに取り込まれているとき、例えば、美術館で一つの作品の前に数時間佇んだり、あるいはまた神秘宗教、音楽、文学などからアートを眺め返すことが、私たちを新たなアートの地平へと導くかもしれません。知っているアートの見知らぬ姿を、ロジャー・マクドナルドとともに探ってみませんか?前期、後期とも、AITルームでのゼミ6回とゼミ合宿1回（一泊二日）で構成されます。各回の英文テキストは、事前に配布され、ゼミは日本語で行われます。

前期 (2013年4月～7月)

アートの外のアート

- 新しい美術史へ—アートを経験し直す方法
- T. J. クラークから、美術史の新たな言語・文法を探る
- G.ディディ=ユベルマン、ある美術史の終わりを問う
- ジェイムズ・エルキンス、ペインティングについて
- アビ・ヴァールブルク、移ろいゆくイメージ
- キュレーティングで人は変わる?—神秘主義と近代美術館／ジュラシック・テクノロジー博物館
- 合宿(1日目 フェンバーガー・ハウス／長野県佐久市)
- 合宿(2日目)

後期 (2013年9月～12月)

言説の限界を超えて

- 言語の限界を超えてゆけ—スーザン・ソントグ、「反解釈」
- 語らないこと、語られないことへ
 - スーザン・ソントグ、「The Aesthetics of Silence」
- アートとパフォーマンス理論の新たな地平
- サイケデリック・マインドは、モダン・アートをどう変えたか?
- 合宿(1日目 フェンバーガー・ハウス／長野県佐久市)
- 合宿(2日目)
- ミニマル&ドロウ・ミュージック—複数の時間の流れ
- ウイリアム・パロウス、イデオロギーから逃れる方法

「美術家」を本気で目指している方へ

ゼミ「アーティスト・プラクティス」、2013年5月開講予定

プロの美術家で構成され美術家のための支援プログラムを運営しているアーティストウ・ギルドから森弘治氏や小泉明郎氏を講師に迎え、小澤慶介とともに、同時代性を表象する芸術作品づくりを、コンセプトの組み立て・思考を作品化する方法・ネットワーク形成などの視点から実践します。詳細は、2013年2月中にHPで発表します。

アートの詩学と存在論

アートを、社会につくられた制度と自然条件の関係において考えます。近代社会につくられてきた「アート」は、「千年に一度」といわれる震災、そしてそれによって明らかになった私たちの生存の条件と、どのような関係を結ぶことができるのかといった問いに向き合い、キュレーションを実践します。前期、後期とも、小澤慶介によって行われ、AITルームでのゼミ6回のほか、小規模の展覧会づくりを行います。(前期構想の展覧会は10月、後期構想の展覧会は2014年2月開催予定)各回のテキストは、事前に配布されます。

前期 (2013年4月～7月)

アートと社会と自然の結び目を考える

- 分節される自然—デヴィッド・ハーヴェイをたずねる
- 近代社会の空間から眺めるアートの姿
- 自然条件から考える—科学史からアートを読み返す
- キュレーティング・ワークショップ
- 流れゆく自然とアーティストたちの思考
- 根をはるな、回折せよ—クローオルという思想

後期 (2013年9月～12月)

社会がアートをつくるのか、

アートが社会をつくるのか

- アートの力はどこに?—ヴァルター・ベンヤミンの芸術生産
- 「環境」に問題はない?—フェリックス・ガタリをたずねる
- 「アート」にだけは、たまされない方法
- キュレーティング・ワークショップ
- 「愛すること」=アート?
- なぜ、今、アートへ向かうのか?